

# 地域保健福祉課

## 地域保健福祉課事業概要

地域保健福祉課の業務は、母子保健事業、老人保健事業、性差を考慮した健康支援事業、栄養改善事業、精神保健福祉事業、地域福祉を主業務として広域的専門的業務を実施している。また、管内市の保健、医療、福祉の関係機関と連携を深め、事業の推進に努めた。

### 1 保健師関係指導事業 表1 - (1) ~ 表1 - (4)

保健師は、地域保健福祉課・健康生活支援課に配属され、各課の業務に対応した活動を行っている。また管内市の保健師活動への支援・調整も行っており、地域保健活動の推進と保健師等の資質向上のために、研修会や連絡会議等を開催した。

### 2 母子保健事業 表2 - (1) ~ 表2 - (10)

「松戸保健所母子保健推進協議会」を開催し、管内市の母子保健事業の情報交換を行い、母子保健活動の推進に努めた。未熟児支援として、同じ悩みを持つ親同士の交流を目的とした「パンダの会(低出生体重児親子の会)」を実施した。不妊相談センター事業として、不妊に関する一般的な相談や不妊治療に関する情報提供、当事者に対する講演会などを行った。

また、思春期保健相談事業として、臨床心理士・精神科医師による個別相談及び関係者連絡会議・講演会等を開催した。一方、望まない妊娠や若年者の妊娠中絶、性感染症等の予防のため、健康生活支援課と協力し、学校保健と連携した講演会を開催した。さらに、連絡会等を開催し、担当者間の連携、協力体制づくりなどを行い、「生と性の健康教育の推進」を図った。

### 3 老人(成人)保健事業 表3 - (4)・(5)

千葉県のがん対策推進計画に基づき、地域がん登録のデータを基に分析した患者の発生動向等より、がん検診推進員育成講習会を開催した。

また、訪問看護ステーション連絡会を開催し、小児の在宅療養支援体制整備を行った。

その他、介護老人保健施設に対し、施設の活動状況・利用状況等実情の把握と指導を実施した。

### 4 性差を考慮した健康支援事業 表4 - (1)・(2)

女性が生涯を通じて健康的な生活をおくるために、その健康状態に応じた確かな自己管理を行うことができるように、女性のための健康相談、健康教室事業を実施した。

医師や助産師による面接相談は、県内の医療機関で女性外来が開設され、医療による相談体制が確保されたため今年度で終了となったが、電話相談は次年度も継続して実施する。性差医療の視点から、男性特有の身体的・精神的悩みに対する支援として平成19年11月より電話による男性相談を実施している。その他、健康教育事業を行っている。

### 5 総合的な自殺対策推進事業 表5 - (1)・(2)

自殺が大きな社会問題となっており、自殺予防対策は重要な健康問題になっている。うつ病等の早期発見、早期治療のため、一般市民及び関係機関の職員を対象に普及啓発を実施するとともに、「自殺対策連絡会議」を開催した。

## 6 地域・職域連携推進事業 表6

地域保健と職域保健が連携し、生活習慣病の予防と健康寿命の延伸を図るために管内の行政機関、事業所、医療保険者等が情報交換を行い、保健事業に関する共通認識のもと、それぞれが有する保健医療資源の相互活用等により、協力して継続的な健康管理ができるようにするため、「地域・職域連携推進協議会」を開催した。

## 7 栄養改善事業 表7 - (1) ~ 表7 - (4)

健康増進法に基づき、特定給食施設の届出の受理をはじめ、栄養管理基準による栄養管理の集団・個別指導及び助言を行うとともに、国民の健康増進の総合的推進を図るための基礎資料となる国民健康・栄養調査を実施した。

また、食環境整備として外食産業との連携により、飲食店等での外食料理栄養成分表示・健康に配慮したメニューの提供・健康栄養情報を提供する店「健康ちば協力店」の登録推進と関連企業等に対して健康の保持増進の効果等に関する保健機能食品の指導及び栄養表示基準制度の周知を図るとともに、啓発普及に努めた。

その他、食育指導者研修会、病態栄養教室を開催するとともに、栄養関係団体の育成等を行った。

## 8 歯科保健事業 表8 - (1) ~ (3)

在宅要介護者等の口腔内の健康増進を図るためホームヘルパー等を対象に研修会を開催した。また、神経難病患者の歯及び口腔内の健康の維持増進を図るため、お口のケア相談会を実施した。国民の歯科の健康状態を明らかにすることを目的として、歯科疾患実態調査を実施した。

## 9 市町村支援 表9

関係機関の連携を深め、地域保健の推進を図るために健康づくり推進協議会、子どもと女性に対する暴力防止対策地域協議会等に参加した。さらに、保健師、栄養士に対して研修会を開催し、保健活動の推進と資質の向上を図った。

## 10 地域福祉事業 表10 ~ 表14、16、17

福祉支援として、母子・寡婦福祉資金の審査・貸付に関する事務及び母子自立支援員による母子家庭、寡婦の生活一般の相談、職業能力の向上及び就職活動等の相談を実施した。障害者の福祉の推進を図るため、身体障害者相談員・知的障害者相談員を委嘱し、手当を支給するとともに、在宅重度知的障害者及び寝たきり身体障害者の家族への福祉手当、重度身体障害者日常生活用具取り付け費支給に対する補助金の交付を行った。民生委員・児童委員の活動に対して活動に要する経費にあてるための活動費を支給するとともに、民生委員協議会・民生委員推薦会に対して交付金の支給を行った。

満百歳に対する祝品等の贈呈事業や公的年金等を受給していない老人福祉施設入居者に対し法外援護給付金の支給を行った。

市における老人福祉法、身体障害者福祉法に基づく施設入所措置・費用徴収の事務及び児童手当法に基づく児童手当の認定・支払い事務の適正な運用を図るために、指導監査を実施し、必要な助言を行った。

### 1.1 配偶者暴力相談支援事業 表15

平成16年6月から「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」に基づき配偶者暴力相談支援センターに指定され、被害者からの相談を受け必要な助言・支援を行った。

### 1.2 精神保健福祉事業 表18-(1) ~ 表18-(9)

「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法）」に基づき、心の健康相談、措置入院・医療保護入院の法施行業務、精神障害者の社会復帰・社会参加のためのデイケアクラブ等幅広い事業を実施した。

また、地域精神保健福祉活動として松戸心の健康市民フォーラムを後援し、地域の社会資源の充実に努めた。

# 1 保健師関係指導事業

## (1) 管内概況

健康福祉センターの保健師は業務別に配属された2課毎に、母子保健・思春期保健・性差を考慮した健康支援・市町村支援・精神保健福祉・感染症対策・難病対策分野で役割を担い、業務の推進を図った。住民への身近な対人保健サービスについては、市の保健師が対応し、その充実に努めている。

表1 - (1) 管内保健師就業状況

(平成24年3月31日現在 単位：人)

年度	区分	総数	健康福祉センター	市町村				病院 診療所	その他	
				衛生行政	福祉	介護保険	国民健康保険			その他
平成21年度		119	14	74	8	15	-	6	2	-
平成22年度		117	14	72	8	15	2	4	2	-
平成23年度		120	16	72	8	15	2	7	-	-
松戸市		57	-	42	3	5	2	5	-	-
流山市		25	-	18	2	4	-	1	-	-
我孫子市		22	-	12	3	6	-	1	-	-

## (2) 健康福祉センター保健師活動

### 保健師活動状況

表1 - (2) 家庭訪問等個別指導状況

(単位：件)

種別	区分	家庭訪問		訪問以外の保健指導		
		実数	延数	面接		電話 延数
				実数	延数	
総数		565	1,144	4,949	6,097	10,299
感染症		54	71	45	70	947
結核		142	368	425	1,079	2,046
精神障害		144	304	115	385	2,362
長期療養児		11	33	313	344	147
難病		9	11	2,270	2,293	2,804
生活習慣病		-	-	6	6	14
その他の疾病		8	28	122	125	180
妊産婦		67	117	12	12	26
未熟児		50	104	196	336	551
乳幼児		13	25	3	3	101
その他		67	83	1,442	1,444	1,121
訪問延世帯数		325	876			

(3) 保健師関係研修（研究）会実施状況

ア 管内保健師等業務連絡研究会

管内保健師の資質向上を図ると共に、市・健康福祉センター等相互の連携を深め、地域保健活動の発展に寄与することを目的として実施した。

表 1 - (3) - ア 管内保健師等業務連絡研究会実施状況

開催年月日	目的・テーマ	主な内容	参加人員
平成 23 年 5 月 16 日	平成 23 年度における重点活動について情報交換し、管内の活動状況を把握し、今後の業務の参考とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各所属における重点事業、新規事業について</li> <li>・業務担当別グループワーク</li> <li>・講演「放射線の基礎知識」 講師：保健所技師</li> </ul>	66 名
平成 23 年 7 月 4 日	退職した先輩保健師から、在職中に伝えられなかったことや、市民目線から意見を聞いて保健師活動に活かすこと、また事例を通してケース支援を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講話「先輩保健師から伝えたいこと」 講師：元松戸市職員</li> <li>・母子 2 事例グループワーク</li> </ul>	43 名
平成 23 年 10 月 28 日	退職した先輩保健師から、在職中に伝えられなかったことや、市民目線から意見を聞いて保健師活動に活かすこと。事業評価と方法を学び、グループワークを通して評価方法を深め、実践できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講話「先輩保健師から伝えたいこと」 講師：元流山市職員</li> <li>・講演「保健事業の評価の考え方と方法」 講師：県立保健医療大学 佐藤紀子教授</li> <li>・グループワーク</li> </ul>	29 名
平成 24 年 1 月 23 日	退職した先輩保健師から在職中に伝えられなかったことや、市民目線からの意見を聞いて保健師活動に活かす、また地域の支援体制づくりを学び、それぞれの分野でのネットワーク体制構築に活かせるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講話「先輩保健師から伝えたいこと」 講師：元我孫子市職員</li> <li>・講演：「地域ケア体制の構築」 講師：八千代市地域包括支援センター長 渡辺哲也 氏</li> <li>・グループワーク</li> </ul>	32 名

イ センター内保健師研究会

2 課に分かれた保健師活動について、相互の業務に対する理解を深め、業務が円滑に行えるよう、連絡調整や伝達講習等を行った。

表 1 - (3) - イ センター内保健師研究会状況

開催月日	主な内容	参加人員
平成23年5月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 23 年度各課の業務年間予定について</li> <li>医療機関立ち入り検査について</li> <li>現任教育について</li> <li>平成 22 年度全国保健師長会の報告</li> <li>その他</li> </ul>	13 名
平成23年8月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健師日月報の入力について</li> <li>現任教育の計画について</li> <li>医療機関立ち入り検査について</li> <li>被災地支援の報告</li> <li>その他（業務研究集録）</li> </ul>	13 名
平成23年12月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>新任期保健師の現任教育（事例検討 2 事例）</li> <li>業務評価・業務計画について</li> <li>保健師業務研究集録について</li> <li>全国保健師長会の報告</li> <li>その他</li> </ul>	14 名
平成24年3月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 23 年度業務評価・平成 24 年度業務計画について</li> <li>その他</li> </ul>	13 名

(4) 看護職員等研修会

看護管理者としての資質の向上と連携の強化を図るため、管内看護管理者業務研修会を開催した。

表 1 - (4) 管内看護管理者業務研修会

開催月日	主な内容	参加人員
平成24年3月9日	<p>講演 「災害対策マニュアルの見直しを行って～看護部長からのアドバイス」 ～東日本大震災を受けて病院の危機管理を見直す～ 独立行政法人労働者健康福祉機構 横浜労災病院 看護部長 池庄司 和子 氏</p> <p>東葛ブロック看護職員等研修会と合同開催 (習志野保健所 25 人、市川保健所 19 人、野田保健所 16 人、 松戸保健所 55 人の計 115 人)</p>	55 名

## 2 母子保健事業

### (1) 母子保健推進協議会

管内の母子保健施策を効果的に推進するため、医師会・助産師会・医療機関・地域住民等の代表者及び管内市の関係者から構成する母子保健推進協議会を設置し、種々の問題を協議した。また、23年度は作業部会を開催し、未熟児支援体制整備の一環として連携シートを作成した。

表2 - (1) 母子保健推進協議会開催状況

開催月日	委員数	主な協議内容
平成23年11月24日	21人	松戸保健所管内の出生状況等について 未熟児支援の連携した支援について ・講演「連携した支援について」 聖路加大学看護実践開発研究センター長 教授 山田雅子氏 ・各機関からの報告 ・意見交換 地域情報について 「さくらんぼの会（双子・三つ子）について」 流山市教育委員会 公民館
平成24年1月27日	12人	<作業部会> 早期に支援が必要なケースのリスク項目の共有 養育困難と判断される事項及び各機関の支援について 連携シートの内容及び活用方法についての意見交換

### (2) 低出生体重児届出状況

母子保健法（第18条）による届出状況は表2 - (2)のとおりであった。

表2 - (2) 低出生体重児出生時体重別届出状況 (単位：人)

年度	体重別 総数	体重別					
		499g以下	500～ 999g	1,000～ 1,499g	1,500～ 1,999g	2,000～ 2,499g	
平成21年	587	4	18	22	79	464	
平成22年	590	1	16	24	78	471	
	松戸市	356	1	10	16	51	278
	流山市	138	-	4	7	14	113
	我孫子市	96	-	2	1	13	80
平成23年	689	..	..	..	..	..	
	松戸市	419	..	..	..	..	
	流山市	170	..	..	..	..	
	我孫子市	100	..	..	..	..	

(注) 1 数値は人口動態統計による。

2 出生時体重別の平成23年数値については事業年報編集時点（平成24年10月）で公表されていないため「..」とした。



(3) 人工妊娠中絶届出

母体保護法第 25 条の規定により医師から届出がなされた人工妊娠中絶実施報告に基づいた妊娠週別・年齢階級別の届出数は表 2-(3)のとおりであった。ただし、届出数には管外在住者分も含まれる。

年齢別では、20～24 才が 224 件で最も多く全体の 21.0%、次いで 25～29 才の 221 件(20.8%)及び 30～34 才が 218 件(20.5%)と続いた。また、20 歳未満は、平成 21 年度 8.2%、平成 22 年度 10.1%、平成 23 年度 10.4%であった。週数別では、満 7 週以前が 595 件で 55.9%、次いで満 8 週～満 11 週が 423 件で 39.7%であった。

表 2 - (3) 人工妊娠中絶届出状況

(単位：人)

区分 妊娠週数	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度									
			総 数	20 歳 未 満	20 ～ 24	25 ～ 29	30 ～ 34	35 ～ 39	40 ～ 44	45 ～ 49	50 歳 以 上	不 詳
総 数	1,081	1,062	1,065	111	224	221	218	207	77	7	-	-
満 7 週以前	660	588	595	51	109	120	134	132	44	5	-	-
満 8 週～満 11 週	374	421	423	53	103	94	76	68	27	2	-	-
満 12 週～満 15 週	16	22	26	4	9	3	5	2	3	-	-	-
満 16 週～満 19 週	21	24	18	2	3	4	2	5	2	-	-	-
満 20 週～満 21 週	10	7	3	1	-	-	1	-	1	-	-	-
不 詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(4) 医療給付事業

ア 未熟児養育医療

養育医療（母子保健法第 20 条）は、入院養育の必要な未熟児に対し医療給付を行うもので、出生体重が 2,000 g 以下の者または生活力が特に薄弱な者が対象となる。

平成 23 年度の給付者は、総数 128 人であった。

表 2 - (4) - ア 未熟児養育医療給付状況

(単位：人)

年度	体 重 別	総 数	499g 以 下	500～ 999g	1,000～ 1,499g	1,500～ 1,999g	2,000～ 2,499g	2,500g 以 上
平成 21 年度		136	3	22	22	63	22	4
平成 22 年度		137	-	13	28	77	18	1
平成 23 年度		128	-	19	33	54	20	2
松 戸 市		72	-	11	17	32	11	1
流 山 市		25	-	3	12	8	2	-
我 孫 子 市		31	-	5	4	14	7	1

## イ 育成医療

育成医療（障害者自立支援法第 58 条）は肢体不自由、視覚障害、聴覚、平衡機能障害、音声・言語・咀嚼機能障害、内臓障害、肝臓機能障害、ヒト免疫不全による免疫機能障害を有し、これを放置すると将来障害を残すと認められるものに対し、指定医療機関において治療を受ける場合に医療の給付を行う。平成 23 年度の受給者は、総数 139 件であった。そのほかに再認定 113 件・変更 6 件・記載事項変更 4 件・補装具 5 件の計 267 件の申請があった。

表 2 - (4) - イ 育成医療給付事業（新規申請分）

（単位：件）

区 分 年 度	総 数	肢体不自由	視 覚 障 害	聴覚平衡 機能障害	音声・言語 機 能 障 害	先天性内臓 疾患その他
平成 21 年度	128	27	14	6	30	51
平成 22 年度	154	37	8	10	28	71
平成 23 年度	139	31	10	9	17	72
松 戸 市	96	20	8	7	12	49
流 山 市	25	5	1	1	1	17
我 孫 子 市	18	6	1	1	4	6

## ウ 療育医療

療育医療（児童福祉法第 21 条の 9）は、結核で長期療養を必要とする児童を指定医療機関に入院させて医療給付を行うほか、学用品・日用品の給付を行うもので、平成 23 年度の申請者は 1 件であった。

### (5) 療育相談

平成 15 年度から医師による診察は実施せず、保健所長、保健師による随時相談対応とした。

(6) 小児慢性特定疾患治療研究事業

平成 17 年 4 月から児童福祉法に位置づけられ安定的な制度となり、疾患ごとに認定基準が設定、重点化されている。

ア 小児慢性特定疾患治療研究費受給者状況

表 2 - (6) - ア 小児慢性特定疾患治療研究費受給者状況

(単位：件)

年度 市町		年度			松戸市	流山市	我孫子市
		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度			
疾患名							
総 数		610	657	644	398	128	118
1	悪 性 新 生 物	87	90	90	56	20	14
2	慢 性 腎 疾 患	60	65	55	33	12	10
3	慢 性 呼 吸 器 疾 患	32	40	43	29	8	6
4	慢 性 心 疾 患	131	151	155	95	31	29
5	内 分 泌 疾 患	153	176	164	92	34	38
6	膠 原 病	18	21	21	10	5	6
7	糖 尿 病	25	20	22	13	5	4
8	先 天 性 代 謝 異 常	20	22	19	15	3	1
9	血友病等血液・免疫疾患	18	17	20	14	4	2
10	神 経 ・ 筋 疾 患	39	38	37	27	4	6
11	慢 性 消 化 器 疾 患	17	17	18	14	2	2

イ 千葉県こども手帳交付状況

表 2 - (6) - イ 千葉県こども手帳交付状況

(単位：件)

年 度	総 数	松戸市	流山市	我孫子市
平成 21 年度	94	67	15	12
平成 22 年度	101	57	28	16
平成 23 年度	68	37	15	16

(7) 長期療養児支援事業・ピアカウンセリング事業

悪性新生物で治療を受けている長期療養児の本人・家族を対象に講演会、交流会を実施した。

表 2 - (7) 平成 23 年度長期療養児支援事業実施状況

(単位：人)

開催年月日	内 容	参加人数
平成 23 年 11 月 18 日	テーマ：病気を語る仲間を見つけよう 講演「最近の白血病治療とその合併症について」 (財)聖路加国際病院 小児科医長 石田也寸志 氏 講話「知っておきたい自助グループの活動について」 (財)がんの子どもを守る会 社会福祉士 横川めぐみ 氏 交流会「病気について語る仲間をつくろう！」	17 人

(8) 母子保健関係研修会等

表 2 - (8) 母子保健関係研修会等

研修会の名称	開催年月日	職種 参加者数	内 容
母子保健 担当者会議	平成 23 年 6 月 22 日	管内市母子 保健担当者 11 人	松戸健康福祉センターの今年度事業について 低出生体重児及びハイリスク児支援体制につ いて 権限移譲について 災害時の母子支援活動について 予防接種法 一部改正について
母子保健 推進員研修会	平成 23 年 6 月 30 日	母子保健 推進員等 190 人	講 演 「乳幼児の生活リズムについて～早寝・早 起き・朝ごはん」 講 師 聖徳大学 児童学部 元教授 室田洋子氏
赤ちゃん・ 子どもの 救急講習会	平成 23 年 7 月 15 日	乳幼児の 保護者等 10 人	講習会「子どもに起こりやすい事故の予防と 手当て」 講 師 日本赤十字社千葉県支部 幼児安全法指導員
パンダの会 (低出生体重児 親子の会)	平成 23 年 11 月 8 日	乳幼児・ 保護者等 45 人	親子遊び 保育士 1 名 先生のお話 松戸市立病院新生児科部長 喜田善和 氏 交流会
NICU 連絡会	平成 24 年 2 月 20 日	新生児科病棟 スタッフ・ 東葛北部母子 保健関係者 17 名	テーマ「養育困難事例への連携した支援について」 ケース連絡・情報交換 講義「連携シートの作成目的や活用について」 講師 千葉県立保健医療大学 講師 雨宮有子氏 養育困難事例へ連携した支援を行うための連携シ ート等についての検討 NICU 見学会

(9) 思春期保健事業

思春期は一生の間で最も変化の著しい時期であり、この時期の家族・学校・社会との関わりがその後の成長に大きく影響することから、主に心の健康について、本人、家族に個別に相談・支援をはかるとともに、当事者や相談関係者を対象とした講演会を開催した。

また、こうした思春期の心や体の問題について支援、連携をはかるため、学校保健や地域保健関係機関の担当者の連絡会を開催した。

ア 個別相談

臨床心理士・精神科医師による相談

実施回数：11回

相談件数：実16件 延19件（来所者数延35件：主な来所者は母と本人）

相談内容：不登校6件、ひきこもり2件、発達障害3件、抜毛症1件、自傷行為2件、被虐待歴のある保護者の養育1件、人格障害疑い3件、社会不安障害1件、不適応1件、摂食障害3件、家庭内暴力2件、情動コントロール不良2件、偏食1件、統合失調症1件、虞犯行為3件、破壊行為1件、性的逸脱行動1件

重複内容あり

相談結果：他機関紹介5件、助言終了12件、経過観察2件

保健師等による電話・面接相談

実施回数：随時

相談件数：実49件 / 延59件

相談内容：不登校13件、家庭内暴力5件、発達障害1件、ひきこもり1件、非行2件、思春期・反抗期の子供に向き合ったら良いか5件、身体症状6件、PTSD1件、不眠2件、摂食障害3件、対人関係不良5件、いじめ2件、偏食1件、身体的相談3件、情動コントロール不良2件、うつ1件、担任との意思疎通の取り方1件、息子への不満1件

重複内容あり

相談結果：思春期個別相談へ12件、他機関紹介21件、相談終了10件、相談時対応5件、その他1件

イ 関係者連絡会

表2 - (9) - イ 連絡会実施状況

開催月日	連絡会内容	参加機関	参加者数
平成23年12月16日	テーマ「発達障害児（者）の就労支援」 (1) 発達障害者支援センターの取り組み (2) 障害者就業・生活支援センターの取り組み (3) 千葉県立松戸南高等学校の取り組み (4) ハローワークの就業の取り組み (5) 松戸保健所思春期保健事業取り組み (6) 情報交換	管内教育委員会、障害者就業・生活支援センター、発達障害者支援センター、中核地域生活支援センター、職業安定所、東葛飾教育事務所、千葉県立松戸南高等学校教諭、各市障害・母子部門、思春期相談担当医・心理士 18機関	32名

ウ 思春期講演会等

表 2 - (9) - ウ 思春期講演会実施状況

開催月日	内 容	対象者	参加者数
平成23年8月25日	講演会 「どうして困った行動をとるの？ - 発達障害の子ども達の行動をまず理解していますか？」 講師 天王台こども・おとしよりクリニック 院長 前田 弘子 事例検討会	管内学校関係者、民間相談機関関係者、行政相談機関関係者等	50名

エ 思春期講座

表 2 - (9) - エ 思春期講座実施状況

開催月日	主 な 内 容	参加人員
平成23年8月19日	テーマ「生と性を考えよう」 講師 助産師 小路和子 氏	教員及び保護者 36名
平成23年9月30日	テーマ「生と性を考えよう」 講師 助産師 足立千賀子 氏	中学3年生及び保護者 99名
平成23年12月1日	テーマ「生と性を考えよう」 講師 助産師 足立千賀子 小林由美子 氏	小学5・6年生及び保護者 106名
平成24年1月21日	テーマ「生と性を考えよう」 講師 助産師 足立千賀子 氏	小学校6年生及び保護者 77名

(10) 不妊対策事業

ア 特定不妊治療費助成事業

特定不妊治療（体外受精・顕微授精）対象者に千葉県特定不妊治療費助成事業実施要綱に基づく経費の助成を平成17年1月から開始している。1年度当たり上限額10万円を通算2年間の助成であったが、平成18年度から通算5年間の助成となり、平成19年度からは1回の治療につき上限額10万円を、1年度当たり2回までの助成が可能となった。

また、平成21年度より上限額が15万円と引き上げられ、平成23年度より1年度目の助成限度回数が年2回から年3回になった。

表 2 - (10) - ア 特定不妊治療費助成実施状況

年 度	実件数	延件数
平成21年度	342	530
平成22年度	361	571
平成23年度	416	726

### イ 不妊相談センター事業

不妊に悩む夫婦等に不妊に関する一般的な相談や不妊治療に関する情報提供、医療面・精神面での相談を行うことにより不妊の問題に適切に対応することを目的に平成20年度から不妊相談事業を実施した。

表2 - (10) - イ 不妊相談センター実施状況

年度	内訳	相談件数	相談者
平成23年度	来所相談（11回）	29	医師・カウンセラー・助産師・保健師
	定例電話相談（12回）	24	助産師
	随時電話（面接）相談	59（8）	保健師等

### ウ 不妊相談従事者研修会

不妊に悩む夫婦等に、不妊に関する一般的な相談や不妊治療に関する情報提供を行い、社会的心理的に安定した状態で適切な医療を受けられる方法を自ら選択することができる事を目的に知識普及のための講演会を開催する

表2 - (10) - ウ 不妊相談従事者研修会及び不妊当事者講演会実施状況

開催月日	内 容	対象者	参加者
平成24年2月9日	不妊セミナー～ココロとカラダの講演会 セミナー 医療講演 「不妊治療時に身につけたい知識 ～不妊検査から最新の治療まで」 (社)窪谷産婦人科 不妊外来 香川珠紀 氏	・不妊に悩むご夫婦と家族 ・不妊に関する相談事業従事者	14人
平成24年2月16日	不妊セミナー～ココロとカラダの講演会 セミナー 健康講演 「漢方って何？男性女性の漢方について」 (学)北里大学 東洋医学総合研究所 漢方診療部 森 裕紀子 氏 セミナー こころのケア講演 「不妊の悩みからココロをひもとく」 あかぎけいこカウンセリングルーム 心理士 赤城恵子 氏	・不妊治療に関わる医療従事者 ・母子保健担当者	24人

### 3 老人(成人)保健事業

#### (1) 市町村老人(成人)保健事業

平成 20 年度から、老人保健法は、高齢者の医療の確保に関する法律に改正され、医療保険者に特定健診・特定保健指導が義務付けられた。一方、従来の老人保健法の事業のうち、特定健診・特定保健指導に位置づけられない事業およびがん検診については、市町村が健康増進法に基づき実施することとなった。

#### (2) 介護サービス施設・事業所設置状況

##### ア 介護老人保健施設実地指導

介護老人保健施設 5 施設について、施設の活動状況・利用者状況等実情の把握と指導を実施した。

##### イ 訪問看護ステーション整備状況

平成 24 年 3 月 31 日現在の訪問看護ステーションは 28 施設。整備状況については地域資料編に記載。

#### (3) がん登録事業

がん罹患率の測定、疫学調査、患者の追跡調査を行うことによって、千葉県におけるがん罹患と死亡の動態、並びに医療内容の実態を把握し、がん対策確立のための基礎資料を提供することを目的として実施。

#### (4) がん検診推進員育成講習会

がん検診受診率を向上させるために、地域でがん検診の声かけ運動を実施する事ができる、人材の育成をする事を目的に開催した。

表 3 - (4) 千葉県がん推進計画 がん検診推進員育成講習会

開催年月日・場所	内 容	構成員・参加者数
平成24年7月11日 流山市保健センター 平日夜間・休日診療 所 2F会議室	(1) がん体験者からのお話し 「乳がん検診は怖くない！早期発見の第一歩」 アイビー千葉 会員 緒方知子 氏 (2) 専門医からのお話し 「知ってください！乳がん検診の大切さ」 ちば県民保健予防財団 診療部診療部長 橋本 秀行 氏 (3) 情報交換	流山市健康推進員、我孫子市 母子保健推進員等 合計 38 名



(5) 訪問看護ステーション連絡会

在宅緩和ケアネットワーク運営事業の実施に伴い、平成 17 年度から管内訪問看護ステーションの連携強化と活動の質の向上を目的に開催した。

表 3 - (5) 訪問看護ステーション連絡会

開催年月日	内容	構成員・参加者数
平成24年3月5日	医療依存度の高い子ども達の看看連携を目的として、開催した。  (1) 「千葉県障害児等訪問看護センター事業について」 訪問看護ステーションあおぞら 所長 井川 夏実  (2) 情報交換	管内・柏市の訪問看護ステーション看護師 松戸市立病院 新生児科看護師 健康福祉センター  計 28名

#### 4 性差を考慮した健康支援事業

性差を踏まえた保健医療の視点から、女性も男性もその健康状態に応じ的確に自己の健康管理を行うことができ、生涯を通じた健康づくりが出来るための支援体制を充実させることを目的とし、性差を考慮した健康支援事業を実施した。

##### (1) 女性のための健康相談事業

###### ア 女性のための健康相談

医師や助産師、臨床心理士による相談を実施した。23年度をもって面接相談は終了した。

表4 - (1) - ア 健康相談実施状況 (単位：件)

年 度	区 分	回 数	相 談 数		電 話 相 談
			実 数	延 数	
平成 21 年度		9	13	13	73
平成 22 年度		9	14	14	118
平成 23 年度		5	6	6	51

担 当：内科医 2 名、産婦人科医 1 名、及び助産師 1 名、臨床心理士 1 名・保健師  
 相談内容：メンタルヘルス・月経・更年期・婦人科疾患・うつ・不眠・不妊等

###### イ 男性のこころと身体健康相談

性差医療の視点から、男性特有の身体的・精神的悩みに対する支援として平成 19 年 11 月から相談事業を開始した。対象は、思春期以降の全年齢層にわたる男性とその家族とした。

表4 - (1) - イ 相談実施状況

	電話相談	面接	総数
平成 21 年度	20	-	20
平成 22 年度	32	1	33
平成 23 年度	24	-	24

おもな相談内容：メンタルヘルス・ED・泌尿器科系疾患等

##### (2) 健康教育事業

女性の健康づくりを普及啓発するため、地域住民を対象とした健康教室を実施した。

表4 - (2) 女性のための健康教室

開 催 月 日	主 な 内 容	参 加 人 員
平成23年7月14日	松戸健康福祉センター管内状況報告 「若年妊娠届出数・若年人工妊娠中絶数の推移及び性差を考慮した健康支援事業からみえてきた若い世代の健康課題について」 講話「医療現場からの報告～支援者が知っておきたい高校生の健康問題～」	25 名

## 5 総合的な自殺対策推進事業

自殺は、個人的な問題としてのみ捉えるべきものではなく、その背景に様々な社会的要因があることを踏まえ、総合的な対策を確立すべき時期にある。平成 22 年 5 月に千葉県が策定した「千葉県自殺対策推進計画」に基づき、地域における自殺対策の強化を図った。

### (1) 普及啓発事業

健康問題として自殺を捉え、啓発をすることにより当事者だけでなく、周囲の人にも気付いてもらえるように、啓発パンフレットの配布、住民向け講演会を実施した。

表 5 - (1) - ア 自殺予防普及啓発物資の配布状況

配布物	配布場所	配布部数
<ul style="list-style-type: none"> <li>あなたのこころ元気ですか</li> <li>自殺対策相談対応のための共通マニュアル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内市</li> <li>管内警察署</li> <li>管内医療機関</li> </ul> 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>あなたのこころ元気ですか 3520 部</li> <li>自殺対策相談対応のための共通マニュアル 630 部</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>保健所作成リーフレット</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品衛生講習会</li> <li>管内幼稚園・保育園 園長・職員</li> <li>流山市内幼稚園保護者等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーフレット 1800 部</li> </ul>

表 5 - (1) - イ 講演会実施状況

開催月日	内容	対象者	参加人員
平成23年9月14日	講演「メンタルヘルス～メンタルヘルスについて知っていますか」 講師 ソフィアクリニックますだ 増田知恵子 氏	合同庁舎内職員	35 人
平成24年1月17日	講演「うつ病と認知行動療法」 講師 千葉大学大学院 教授 清水栄司 氏	一般市民	181 人

### (2) 強化モデル事業（自殺対策連絡会議の開催）

平成 21 年度から強化モデル事業として、地域の問題を共有し、関係機関が連携の取りやすい体制整備を目的に自殺対策連絡会議を開催した。

表 5 - (2) 連絡会議実施状況

開催日	内容	参加者
平成 24 年 2 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内における自殺者の統計報告及び各市の取り組み</li> <li>20～40 代の方への自殺対策について</li> <li>来年度以降自殺対策連絡会議の開催について</li> </ul>	関係機関 24 名

## 6 地域・職域連携推進事業

地域保健と職域保健の連携により、生活習慣病予防を中心とする各種保健事業の共同実施、地域保健関係施設等の相互活用等、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制の整備を推進するため、「保健所圏域地域・職域連携推進協議会」を設置し連携を図っている。

平成 20 年度から、柏市の中核市移行に伴い、松戸保健所圏域と柏市保健所圏域の合同開催としている。

表 6 地域・職域連携推進協議会・作業部会開催状況

開催月日	参加者数	主な協議内容
平成23年7月6日 (第1回作業部会)	8	協議会に向けた意見交換や検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 22 年度 協議会実施状況</li> <li>・平成 23 年度 協議会計画</li> <li>・特定健康診査・特定保健指導 実施機関一覧について</li> <li>・平成 23 年度特定健康診査・特定保健指導啓発事業について</li> <li>・糖尿病療養に係わる社会資源調査について</li> <li>・特定保健指導実践者研修会について</li> </ul>
平成23年7月21日 (第1回協議会)	31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 19 年～22 年度協議会実績報告</li> <li>・平成 23 年度各市・機関の特定健診・保健指導実施について</li> <li>・平成 23 年度特定健診・保健指導啓発事業について</li> <li>・糖尿病の療養支援に関わる社会資源調査について</li> <li>・特定保健指導実践者研修会について</li> </ul>
平成23年12月19日 (第2回作業部会)	10	協議会に向けた意見交換や検討 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 23 年度 地域・職域連携推進事業の実施について <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査・特定保健指導啓発事業の結果について</li> <li>・特定保健指導実践者研修の結果について</li> <li>・糖尿病療養に係わる社会資源調査について</li> </ul> </li> <li>2 平成 22 年度特定健康診査・特定保健指導実施結果について</li> <li>3 各市における特定保健指導成功事例についての分析</li> <li>3 第 2 回協議会における講演依頼の内容検討</li> </ol>
平成24年2月2日 (第2回協議会)	39	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 事業報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア平成 23 年度特定健診・保健指導啓発事業について</li> <li>イ糖尿病の療養に関わる社会資源調査について</li> <li>ウ特定保健指導実践者研修について</li> <li>エ平成 23 年度各市・機関の特定健診・保健指導実施報告</li> </ul> </li> <li>2 特定健診・特定保健指導における課題と協議事項</li> <li>3 メタボリックシンドロームを予防するために <ul style="list-style-type: none"> <li>ア特定保健指導成功例について</li> <li>イ講演「メタボリックシンドロームを予防するために」 講師 千葉大学大学院看護学研究科教授 北池先生</li> </ul> </li> </ol>

## 7 栄養改善事業

### (1) 健康増進（栄養・運動等）指導事業

個別指導は、来所や電話による生活習慣病等の栄養相談や国民健康・栄養調査等において実施した。また、集団指導は、住民及び関係者を対象とした講習会・研修会を開催し、正しい知識の普及・啓発に努めた。

表7 - (1) 健康増進（栄養・運動等）指導

(単位:人)

区分	実施数					(再掲)医療機関等への委託				
	妊産婦	乳幼児	20歳未満(乳幼児を除く)	20歳以上(乳幼児を除く)	(妊産婦を)	妊産婦	乳幼児	20歳未満(乳幼児を除く)	20歳以上(乳幼児を除く)	(妊産婦を)
個別指導	栄養指導	-	3	6	66	-	-	-	-	-
	(再掲)病態別栄養指導	-	-	-	7	-	-	-	-	-
	(再掲)訪問による栄養指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	運動指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(再掲)病態別運動指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	休養指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	禁煙指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-
集団指導	栄養指導	-	-	-	181	-	-	-	-	-
	(再掲)病態別運動指導	-	-	-	33	-	-	-	-	-
	(再掲)訪問による栄養指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	運動指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(再掲)病態別運動指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	休養指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	禁煙指導	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### ア 病態別個別指導状況

表7 - (1) - ア 病態別個別指導状況

(単位:人)

種別区分	計	生活習慣病	難病	アレルギー疾患	摂食障害	その他
病態別栄養指導	7	7	-	-	-	-
病態別運動指導	-	-	-	-	-	-

(注) 生活習慣病は、がん・高血圧・心臓病・高脂血症・糖尿病・肥満・貧血に関する指導をした場合に計上する。

イ 病態栄養教室実施状況

表7 - (1) - イ 病態栄養教室実施状況

教室名	回数	参加人員	主 内 容
クローン病の方のための治療と栄養学習会	1	33名	講話「脂肪酸栄養学に基づいた新しい炎症性腸疾患の食事療養」 講師 東京慈恵会医科大学附属柏病院 消化器・肝臓内科 医師 内山幹氏 講話「クローン病患者の食事療法について」 講師 東京慈恵会医科大学附属柏病院 管理栄養士 猿田加奈子氏

ウ 栄養関係団体育成指導

表7 - (1) - ウ 栄養関係団体育成指導

団 体 名	回数	参加延人員	主 内 容
松戸保健所管内集団給食協議会	9	99名	役員会・総会・研修会の開催及び会報発行等支援・協力
千葉県集団給食協議会連合会	3	13名	理事会・総会・研修会及び施設見学会開催支援・協力
松戸調理師会	5	119名	理事会・総会・研修会・調理師大会等支援

エ 管内行政栄養士研究会

表7 - (1) - エ 管内行政栄養士研究会実施状況

研究会名	主 内 容	参加人員
管内栄養士業務連絡研修会	第1回 平成23年6月10日 発表・情報交換 ・平成22年度重点事業実施結果について ・平成23年度重点事業計画について ・東日本大震災関連栄養・食生活対応状況について 情報提供	17名
	第2回 平成23年12月16日 講話・演習 「栄養改善事業の事業仕分け～新規・継続・廃止の見極め方～」 情報提供	9名

才 国(県)民健康・栄養調査

表7 - (1) - 才 国民健康・栄養調査実施状況

調査名	調査地区(対象)・調査月日等	調査内容
平成23年国民健康・栄養調査	[調査地区] 松戸市松戸新田地区(11世帯 22人) 松戸市上本郷地区(16世帯 31人)	1 栄養摂取状況調査 世帯状況と世帯員個人の食事 (満1歳以上) 2 生活習慣調査(満20歳以上) 3 身体状況調査 身長、体重(満1歳以上) 腹囲(満6歳以上) 血圧(満15歳以上) 1日の運動量[歩行数] (満15歳以上) 血液検査(満20歳以上) 問診(満20歳以上)
	[調査月日] 生活習慣調査及び栄養摂取状況調査 11/16 11/9 身体状況調査 11/17 11/10	
	[結果返却] 血液検査 1世帯2人 8世帯13人 栄養摂取状況調査 9世帯14人 15世帯30人	

カ 食品製造業者及び販売者への指導

表7 - (1) - カ 食品に関する表示指導の状況 (単位:件)

指導内容	業者への指導(相談対応を含む) ・普及啓発				県民への指導(相談対応を含む) ・普及啓発		
	個別指導・ 個別相談		集団指導・ 普及啓発		個別指導 個別相談	集団指導・ 普及啓発	
	実指導 食品数	延指 導数	回数	延対象者 数	延指導・ 相談件数	回数	延対象者 数
特別用途食品及び特定 保健用食品について	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	-	1(1)	15(15)
栄養表示基準について	7	9	7	1,212	-	1	15
栄養機能食品について	-	-	-	-	-	1	15
虚偽誇大広告について	-	-	-	-	-	-	-
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)	1	1	-	-	-	-	-

(注) ( )内は、特定保健用食品再掲。

キ 調理師試験及び免許取扱

表7 - (1) - キ 調理師試験及び免許取扱状況 (単位:人)

年 度	調 理 師 試 験				免 許 交 付		
	出願者数	受験者数	合格者数	合格率 (%)	新規交付	書換交付	再交付
平成21年度	181	174	83	47.7	198	35	33
平成22年度	206	203	128	63.1	185	36	37
平成23年度	172	162	80	49.4	195	33	43

(2) 給食施設指導

栄養管理、衛生管理等研修会を開催し給食に携わる管理者・従事者の資質の向上と給食施設間のネットワークづくりに努めるとともに、給食運営現況報告や栄養管理状況調査、個別巡回指導等により、喫食者・施設に応じた適切な栄養管理が行われるよう助言・指導を行った。

表7 - (2) 給食施設状況

施設総数	管理栄養士のみ いる施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいる施設			栄養士のみ いる施設		管理栄養士 栄養士 どちらもいない 施設数	管理栄養士 必置指定施設		栄養成分表示 施設数	栄養教育実施 施設数
	施設 数	管理 栄養士 数	施設 数	管理 栄養士 数	栄養 士 数	施設 数	栄養 士 数		該 当 施設 数	指 定 数		
301	72	83	62	114	116	109	132	58	4	4	294	232

栄養成分表示施設数及び栄養教育実施施設数は、給食運営現況報告による（平成23年5月時点）

ア 給食管理等施設指導

表7 - (2) - ア 給食施設指導状況

区 分			計	特定給食施設		給食施設	それ未満の 給食施設
				1回300食以上 又は 1日750食以上	1回100食以上 又は 1日250食以上	1回 50食以上 又は 1日100食以上	
個別 指導	給食管理 指導	巡回個別指導 施設数	175	74	74	27	-
		その他指導 施設数	334	114	133	87	-
	喫食者への栄養・運動指導延人員		-	-	-	-	-
集団 指導	給食管理 指導	回数	4	4	4	4	-
		延施設数	207	29	131	47	-
		延参加人員	261	51	153	57	-
	喫食者への栄養・運動指導	回数	-	-	-	-	-
		延人員	-	-	-	-	-



イ 給食施設個別巡回指導状況

表7 - (2) - イ 給食施設個別指導状況

区分	栄養士の有無	総数		特定給食施設				給食施設		それ未満の給食施設	
				1回300食以上 又は 1日750食以上		1回100食以上 又は 1日250食以上		1回 50食以上 又は 1日100食以上			
		施設総数	指導総施設数	施設総数	指導総施設数	施設総数	指導総施設数	施設総数	指導総施設数	施設総数	指導総施設数
合計		301	175	122	74	129	74	50	27	-	-
計	有	243	153	117	73	90	59	36	21	-	-
	無	58	22	5	1	39	15	14	6	-	-
学校	有	111	66	105	62	6	4	-	-	-	-
	無	5	3	3	1	2	2	-	-	-	-
病院	有	28	28	7	7	14	14	7	7	-	-
	無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護老人 保健施設	有	13	9	-	-	12	9	1	-	-	-
	無	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-
老人福 祉施設	有	25	15	-	-	15	11	10	4	-	-
	無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
児童福 祉施設	有	41	18	-	-	32	13	9	5	-	-
	無	39	15	-	-	30	11	9	4	-	-
社会福 祉施設	有	6	6	-	-	2	2	4	4	-	-
	無	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-
事業所	有	7	4	4	3	3	1	-	-	-	-
	無	8	1	2	-	3	1	3	-	-	-
寄宿舍	有	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無	3	1	-	-	3	1	-	-	-	-
矯正 施設	有	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
自衛隊	有	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-
	無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	有	11	6	-	-	6	5	5	1	-	-
	無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

上記のほか、（特定）給食施設届出外施設である2施設に対し医療法に基づく立ち入り検査を実施

ウ 給食施設開始及び廃止指導状況

表7 - (2) - ウ 給食施設開始及び廃止指導状況

	新規給食開始(再開)	給食廃止(休止)	給食変更
届出数	7	5	55
指導数	36	1	19

工 給食施設管理者・栄養士・調理従事者研修会表

表 7 - (2) - 工 給食施設管理者・栄養士・調理従事者研修会状況

研 修 会 名	開催月日	主 な 内 容	参加人員
給食施設 衛生研修会	平成23年 6月 8日 6月15日	講義「給食施設の衛生管理」 松戸健康福祉センター 食品機動監視班 食品衛生監視員 報告「給食施設栄養管理状況報告書～平成 22 年度結果と 平成 24 年度改正（案）の概要」 松戸健康福祉センター 地域保健福祉課 栄養指導員	77 名 114 名
病院給食施設 研修会	平成24年 1月24日	講演「病院における栄養管理の実際」 東葛クリニック病院 栄養部臨床栄養課長 高崎美幸 報告「非常災害時対応セルフチェック及びアンケートの集 計結果」 松戸健康福祉センター 地域保健福祉課 栄養指導員	36 名
高齢者給食施 設研修会	平成24年 2月14日	講演「高齢者給食施設の衛生管理」 松戸健康福祉センター 食品機動監視班 食品衛生監視員 報告「特定給食施設巡回指導における栄養管理の指導事項 について」 松戸健康福祉センター 地域保健福祉課 栄養指導員 報告「給食施設における非常災害時対応セルフチェック及 びアンケート結果」 松戸健康福祉センター 地域保健福祉課 栄養指導員	49 名

(3) 健康ちば協力店推進事業

提供する主なメニューの栄養成分表示のほか、健康に配慮したメニューに取り組む飲食店等である「健康ちば協力店」の登録・推進等を行い、県HP等で県民への周知を図り、外食における栄養成分表示とヘルシーメニューの推進を図った。

表 7 - (3) - ア 協力店登録状況

登録件数	変更件数	取消件数
14 件	-	2 件

表 7 - (3) - イ 協力店登録累計数

登録累計数	91 店舗	松戸市 69 店舗	・ 流山市 7 店舗	・ 我孫子市 15 店舗
-------	-------	-----------	------------	--------------

表 7 - (3) - ウ 啓発普及及び指導実施状況

区分	飲食店等に対する 普及啓発及び指導 状況		登録後の協力店に対する指導状況			県民に対する普及 啓発及び指導状況	
	回数	延人員	回数	延店舗数	延人員	回数	延人員
個別指導		14		14	14		-
集団指導	7	1,212	-	-	-	1	300
計		1,226		14	14		300

(4) 若年者健康づくり推進事業

青少年期に望ましい食習慣及び生活習慣を定着させることは、生涯を通じた健康づくりからも大切である。食生活の重要性を普及啓発し、生活習慣の早期改善を図るため、保育士及び栄養士等を対象に研修会等を開催し、地域における食育の推進を図った。

表 7 - (4) 若年者健康づくり推進事業

研修会名	開催月日	主 な 内 容	参加人員
食育指導者研修会	平成24年2月15日	講演「保育所における食育の推進」 聖徳大学人間栄養学部 教授 中尾芙美子氏 報告「給食施設における非常災害時対応セルフチェック及びアンケート結果」 松戸健康福祉センター 地域保健福祉課 栄養指導員	62名

8 歯科保健事業

ホームヘルパー等介護支援者を対象に訪問歯科保健医療サービス推進研修会を開催した。また、難病患者及び家族を対象に口腔ケアの必要性と実践方法の研修会を開催した。

国民の歯科の健康状態を明らかにすることを目的として、歯科疾患実態調査を実施した。

表 8 - (1) 訪問歯科保健医療サービス推進研修会

研修会名	開催月日	主 な 内 容	参加人員
訪問介護に役立つ口腔ケア習得セミナー	平成24年1月18日	講演「在宅要介護者の口腔ケア」 千葉県歯科衛生士会 歯科衛生士 岡部明子氏 実技「歯ブラシ・スポンジブラシ等を使った口腔ケア」 千葉県歯科衛生士会 歯科衛生士 坂巻真有美氏	23名

表 8 - (2) 難病及び障害者等歯科保健サービス事業

研修会名	開催月日	主 な 内 容	参加人員
神経難病の方のためのお口のケア相談会	平成23年10月17日	講話「神経難病の方の口腔ケアについて」 日本大学松戸歯学部 障害者歯科講座 歯科医師 野本たかと氏 講話・実習「日常のお手入れのポイントについて」 日本大学松戸歯学部付属病院特殊歯科 歯科衛生士 宮内知美氏	10名

表 8 - (3) 歯科疾患実態調査実施状況

調査名	調査地区(対象)・調査月日	調査内容
平成23年 歯科疾患実態調査	[調査地区] 松戸市松戸新田地区(2世帯 3人) 松戸市上本郷地区(8世帯 13人) [調査月日] 11/17 11/10	歯ブラシの使用状況、フッ化物の塗布状況、インプラントの有無、顎関節の異常、歯の状況、補綴の状況、歯肉の状況、歯列・咬合の状況

## 9 市町村支援

表9 市町村への支援状況

項目 市町村	会 議 ・ 連 絡			
	会 議 名	回 数	職 種 ・ 人 員	主 な 内 容
松戸市	松戸市少年センター 運営協議会	2	保健師 2 (課長 1)	活動報告・事業報告・情報交換
	松戸市学校保健会総会	2	保健師 5 (課長 2)	
	松戸市子どもと女性に対する暴力防止対策地域協議会 代表者会議	1	保健師 1 (課長)	
	松戸市子どもと女性に対する暴力防止対策地域協議会 実務者会議	5	保健師 5	情報交換・研修会等
	松戸市介護保険運営協議会	2	保健師 4 (課長 2)	
	松戸市障害者計画 推進協議会	1	医師 1 (所長)	障害者計画第 2 期計画案について
	松戸市高齢者虐待防止ネット ワーク会議	5	精神保健福祉相談員 5	活動報告、事例検討、情報交換等
	松戸市地域移行支援協議会	3	精神保健福祉相談員 3	活動報告等
	松戸市自立支援協議会 退院促進支援部会	7	精神保健福祉相談員 7	実施報告、アンケート調査の検討及び実施、研修会等
流山市	流山市福祉施策審議会	2	次長	障害者計画の策定について 介護保険料の改定
	流山市障害者福祉推進会議	1	保健師 1 (課長)	障害者支援計画について
	流山市地域包括支援センター 及び地域密着型 サービス運営協議会	2	保健師 2 (課長)	地域密着型サービスの運営について協議等
	流山市要保護児童対策地域 協議会代表者会議	1	保健師 1 (課長)	事業計画・事業実績報告 事例検討
	流山市要保護児童対策 地域協議会実務者会議	2	保健師 2	事例検討
	流山市高齢者虐待 ネットワーク全体会	1	保健師 1	実績報告・事業計画
	流山市高齢者虐待 ネットワーク担当者会議	4	保健師 4	事例検討・研修会
	地域自立支援協議会	2	保健師 2 (課長)	
我孫子市	我孫子市健康づくり 推進協議会	3	保健師 3 (課長)	歯・口腔の健康づくりの推進について等
	我孫子市子ども虐待等防止 対策地域協議会	1	保健師 1 (課長)	協議会のあり方・児童虐待防止対策実務 者会議の報告等
	我孫子市自立支援協議会	1	精神保健福祉相談員 1	事業計画、意見交換等
	我孫子市自殺対策連絡会議	2	保健師 2	我孫子市の自殺対策について

## 10 民生委員・児童委員

民生委員・児童委員は、地域の社会福祉の増進に努めることを本務として、自主的な活動を行なったほか、行政機関への協力者として活動した。

表10 民生委員・児童委員配置状況（平成24年3月31日現在）（単位：人）

市町村	定数	現 員			左の内訳	
		民生委員 児童委員	主任 児童委員	計	男	女
23年度	884	779	64	843	216	627
松戸市	538	477	35	512	133	379
流山市	163	138	16	154	39	115
我孫子市	183	164	13	177	44	133

## 11 児童福祉

### (1) 児童扶養手当

父母の離婚などにより、父親と生計を同じくしていない児童を養育している母子家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図ることを目的に、児童扶養手当を支給した。

#### ア 児童扶養手当受給者数

表11 - (1) - ア 児童扶養手当受給者数（単位：世帯）

23年度	1
松戸市	-
流山市	-
我孫子市	1

#### イ 児童扶養手当受給者の世帯類型別

表11 - (1) - イ 児童扶養手当受給者の世帯類型別（単位：世帯）

年度	区分	世 帯 類 型 別							
		生別母子世帯		死 別 母子世帯	未 婚 の 母子世帯	障 害 者 世 帯	遺 棄 世 帯	そ の 他 の 世 帯	計
		離 婚	そ の 他						
平成21年度		-	-	-	2	-	-	-	2
平成22年度		-	-	-	1	-	-	-	1
平成23年度		-	-	-	1	-	-	-	1

(2) 特別児童扶養手当

精神または身体に政令で定める程度の障害を有する 20 歳未満の児童を監護している父若しくは母又は、養育者に対して特別児童扶養手当を支給した。

表 1 1 - (2) 特別児童扶養手当受給状況

年度	区分	受給者数	支給対象障害児数							
			身体障害		精神障害		重複障害		計	
			1 級	2 級	1 級	2 級	1 級	2 級	1 級	2 級
平成 21 年度		1,274	312	134	389	472	7	-	708	606
平成 22 年度		1,413	347	140	411	549	8	-	766	689
平成 23 年度		1,532	350	142	423	607	10	-	783	749

1 2 母子・寡婦福祉資金

母子家庭及び寡婦の経済的自立と生活意欲の助長及びその児童の福祉向上を図ることを目的として、母子寡婦福祉資金貸付制度により各種資金の貸付を行った。

(1) 母子福祉資金貸付状況

表 1 2 - (1) 母子福祉資金貸付状況

(単位：千円)

市町村	事業開始	事業継続	修学	技能習得	修業	就職支度	医療介護	生活	住宅	転宅	就学支度	結婚	特別児童扶養
23 年度	-	-	7,706	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
松戸市	-	-	3,674	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流山市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
我孫子市	-	-	4,032	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(2) 寡婦福祉資金貸付状況

表 1 2 - (2) 寡婦福祉資金貸付状況

(単位：千円)

市町村	事業開始	事業継続	修学	技能習得	修業	就職支度	医療介護	生活	住宅	転宅	就学支度	結婚
23 年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
松戸市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流山市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
我孫子市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### 1 3 高齢者福祉

#### (1) 満百歳者に対する祝品等贈呈事業

満百歳者に対し社会発展の功労者として敬愛し、長寿を祝福するため内閣総理大臣からの祝状及び記念品を贈呈した。

表 1 3 - (1) 満百歳者（平成 23 年 9 月 1 日現在）（単位：人）

市町村	満百歳者	左の内訳	
		男	女
23 年度	93	13	80
松戸市	49	6	43
流山市	19	2	17
我孫子市	25	5	20

#### (2) 老人福祉施設入所者法外援護給付金支給事業

老人福祉施設の入所者で、公的年金などを受給していない人に対し法外援護給付金を支給した。

表 1 3 - (2) 老人福祉施設入所者法外援護給付金支給状況

年度	支給額（円）	支給実人員	支給総額（円）
平成 21 年度	4,700	7	314,900
平成 22 年度	4,700	5	277,300
平成 23 年度	4,700	4	150,400

### 1 4 身体障害者福祉・知的障害者福祉

#### (1) 在宅重度知的障害者及びねたきり身体障害者福祉手当給付事業

在宅の重度知的障害者及びねたきり身体障害者又はその家族に、市町村が行なう手当の給付に対して補助金を交付した。

表 1 4 - (1) 在宅重度知的障害者福祉手当・ねたきり身体障害者福祉手当受給状況

市町村	在宅重度知的障害者		ねたきり身体障害者	
	件数(人)	補助金額(円)	件数(人)	補助金額(円)
23 年度	130	6,578,325	6	259,500
松戸市	1	51,900	5	207,600
流山市	28	1,453,200	1	51,900
我孫子市	101	5,073,225	-	-

- (2) 身体障害者相談員及び知的障害者相談員の委嘱（平成 24 年 4 月から、市町村事務へと移譲）  
身体障害者相談員・知的障害者相談員として適格者を委嘱した。

表 1 4 - (2) 身体障害者相談員・知的障害者相談員委嘱状況（単位：人）

市町村	定数	現 員			左の内訳	
		身体障害者 相談員	知的障害者 相談員	計	男	女
23 年度	40	30	9	39	18	21
松戸市	22	17	5	22	10	12
流山市	10	7	2	9	5	4
我孫子市	8	6	2	8	3	5

- (3) 重度身体障害者日常生活用具取付費補助事業

在宅の重度身体障害者の日常生活用具の取り付けに必要な経費を助成した。

表 1 4 - (3) 重度身体障害児・者日常生活用具取付費補助状況

市町村	件数	内容	補助金（円）
23 年度	27	特殊便器、入浴補助用具、他	434,901
松戸市	27	特殊便器、入浴補助用具、他	434,901
流山市	-	-	-
我孫子市	-	-	-

## 1 5 配偶者暴力相談支援事業

平成 16 年 6 月 1 日から「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」（DV 防止法）に基づいて、配偶者暴力相談支援センターに指定され事業を開始した。

配偶者（婚姻関係と同様の事情にある者を含む）又は元配偶者からの暴力を受けた被害者からの相談を受け、必要な助言・支援を行った。

表 1 5 配偶者暴力相談支援状況

年度	総相談件数			来所相談件数			電話相談件数			書面提出件数	通報件数
	総数	うち D V	内閣府 報告分	総数	うち D V	内閣府 報告分	総数	うち D V	内閣府 報告分		
平成 21 年度	499	452	314	107	107	104	392	345	210	10	2
平成 22 年度	542	498	345	145	141	140	397	357	205	6	4
平成 23 年度	469	414	317	131	126	118	338	288	199	4	2



## 16 戦傷病者の援護

### (1) 補装具の交付及び修理

戦傷病者手帳の交付を受けた戦傷病者に対し、補装具の交付と修理を行う。

表 16 - (1) 補装具の交付及び修理状況 (単位:円)

	平成 21 年度			平成 22 年度			平成 23 年度		
	交付	修理	計	交付	修理	計	交付	修理	計
件数	2	2	4	-	-	-	-	2	2
費用	559,547	80,559	640,106	-	-	-	-	293,672	293,672

### (2) 戦傷病者乗車券引換証の変更

戦傷病者の交付を受けた戦傷病者に対して、戦傷病者乗車券引換証の変更事務を行う。

表 16 - (2) 戦傷病者乗車券引換証の変更状況

区分	件数	甲種	乙種
平成 21 年度	-	-	-
平成 22 年度	-	-	-
平成 23 年度	-	-	-

## 17 児童手当事務監査

表 17 児童手当事務監査状況 (隔年実施)

市 町 村	実 施 月
松 戸 市	-
流 山 市	-
我 孫 子 市	-
柏 市	-

## 1 8 精神保健福祉事業

### (1) 管内精神科病院と入院等の状況

精神科病院 1 施設（病床数 370 床）、精神科、心療内科を標榜する診療所は 15 施設あり、その他一般病院 3 ヶ所で精神科外来を開設している。また精神科デイケアが 4 ヶ所の精神科病院と診療所で開設されている。

管内の患者で県内精神科病院へ入院している割合（人口万対入院患者数）は 11.2 人であり、県全体の 14.8 人と比較して低かった。

表 1 8 - (1) - ア 管内病床数・入院患者の状況（平成 23 年 6 月 30 日現在）（単位：件）

区分 年度 市町別	管内人口	精神科病院数	病床数	人口万対病床数	県内病院への 入院患者数 (a)	人口万対入院患者数	措置患者数 (b)	人口万対措置患者数	措置率 (%)	管内の患者の入院先（再掲）					
										圏内の病院への 入院患者数				圏外の病院 への入院患 者数	
										管内病院		管外病院			
										数	%	数	%	数	%
平成 21 年度	779,192	1	370	4.7	883	11.3	13	0.15	1.4	365	41.3	187	21.2	331	37.5
平成 22 年度	782,982	1	370	4.7	902	11.5	18	0.22	2.0	378	41.9	187	20.7	337	37.4
平成 23 年度	784,594	1	370	4.7	880	11.2	11	0.14	1.3	481	54.6	73	8.3	326	37.1
松戸市	484,509	1	370	7.6	561	11.6	4	0.08	0.7	271	48.3	33	5.9	257	29.2
流山市	166,109	-	-	-	183	11.0	5	0.30	2.7	122	66.7	34	18.6	27	14.8
我孫子市	133,976	-	-	-	136	10.2	-	-	-	88	64.7	6	4.4	42	30.9
県全体	6,215,256	53	12,745	20.5	9,204	14.8	70	0.1	0.8	6,093	-	636	-	2,475	-

(注) 1 人口は、7 月 1 日現在。（千葉県毎月常住人口調査による）

2 措置率 =  $b / a \times 100$

3 措置患者数（ ）には柏市在住者も含む。

4 県外の入院患者 2,062 人を含む県内精神科病院への全入院患者 11,266 人で計算した人口万対入院患者数は 18.3 人

表 1 8 - (1) - イ 管内病院からの届出等の状況

(単位：件)

種 別 年 度	医療保護 入院届 (保護者 の同意)	医療保護 入院届 (扶養義務 者の同意)	応 急 入院届	医療保護 入院者の 退院届	措置症状 消退届	措置入院 定期病状 報告書	医療保護 入院定期 病状 報告書
平成21年度	36	14	-	32	-	2	126
平成22年度	37	15	-	47	7	10	122
平成23年度	71	25	-	66	7	3	39

(2) 措置入院関係 表 1 8 - (2)各表の数値には柏市及び管轄外地域在住者を含む

表 1 8 - (2) - ア 申請・通報・届出処理状況

(単位：件)

申請通報等の別 処 理	申請・通報 届出件数	診察の必要 がないと 認めた者	法第 27 条の診察を受けた者			緊急措置 入院件数 (再掲)
			法第 29 条該 当症状の者	その他の 入院形態	通 院 ・ そ の 他	
平成 21 年度	262	191	48	8	15	32
平成 22 年度	272	201	50	5	2	16
平成 23 年度	287	239	36	1	2	11
法第 23 条 一 般 人 か ら の 申 請	1	-	1	-	-	-
法第 24 条 警 察 官 か ら の 通 報	250	214	26	1	9	21
法第 25 条 検 察 官 か ら の 通 報	10	-	9	-	1	-
法第 25 条の 2 保 護 観 察 所 の 長 か ら の 通 報	-	-	-	-	-	-
法第 26 条 矯 正 施 設 の 長 か ら の 通 報	26	25	-	-	1	-
法第 26 条の 2 精 神 科 病 院 管 理 者 か ら の 届 出	-	-	-	-	-	-
法第 26 条の 3 医 療 観 察 法 に 基 づ く 指 定 医 療 機 関 管 理 者 及 び 保 護 観 察 所 長 か ら の 通 報	-	-	-	-	-	-
法第 27 条第 2 項 申 請 通 報 に 基 づ か ない 診 察	-	-	-	-	-	-

(注) 1 前年度 24 条通報を受理し結果未決、越年した 1 件を含む (本年度の総件数は 286 件)

2 29 - 2 診察を実施し措置入院要、27 条診察実施し措置入院不要、医療保護入院となった 1 名を含む

表 1 8 - (2) - イ 被申請・通報・届出者の病名

(単位：件)

病名	総数	統合失調症	躁うつ病	器質性精神障害		中毒性精神障害			その他の精神病	神経症	人格障害	精神遅滞	てんかん	その他
				痴呆性疾患	その他	アルコール中毒	覚せい剤中毒	その他						
平成 21 年度	262	113	25	2	1	19	4	8	10	9	20	1	3	47
平成 22 年度	272	92	35	6	3	12	10	10	15	8	21	8	3	49
平成 23 年度	287	95	29	2	6	12	8	6	13	30	24	10	2	50
診察実施	要措置	36	21	1	-	1	-	3	3	5	1	-	-	1
	不要措置	12	4	-	-	-	4	-	-	-	1	3	-	-
診察不要	239	70	28	2	5	8	5	3	8	28	21	10	2	49

(注) 1 その他には不詳も含む。

2 平成 23 年度分総数及び診察不要（診断は人格障害）には、越年 1 件含む。

3 診察実施は 27 条診察実施数のみ。29 - 2 診察実施し不要措置の者は診察不要に含まれる。

表 1 8 - (2) - ウ 入院期間別措置入院患者数（平成 24 年 3 月 31 日現在）

(単位：人)

入院期間	総数	6 カ月未満	6 カ月以上 1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上
平成 21 年度	14	9	3	1	1
平成 22 年度	10	7	-	2	1
平成 23 年度	10	7	1	-	2

(3) 医療保護入院のための移送（法 34 条）

表 1 8 - (3) 医療保護入院のための移送処理状況

年度	受付件数	指定医の診察件数	移送件数
平成 21 年度	1	1	1
平成 22 年度	-	-	-
平成 23 年度	-	-	-

(4) 通院医療費及び保健福祉制度関係

平成 14 年から通院医療費公費負担及び手帳の申請交付窓口が市町村に移譲されている。なお、通院医療費公費負担制度については、法改正により平成 18 年度から自立支援医療（精神通院医療）に移行した。

表 1 8 - (4) - ア 自立支援医療(精神通院医療)患者数

(平成 24 年 3 月 31 日現在)(単位：人)

年度・市町村	公 費 負 担 患 者 数
平成 2 1 年度	6,833(1,058)
平成 2 2 年度	7,748(1,253)
平成 2 3 年度	8,217(1,382)
松 戸 市	4,900(1,005)
流 山 市	1,700( 204)
我 孫 子 市	1,617( 173)

(注) ( ) 内は生活保護受給者の再掲。

表 1 8 - (4) - イ 精神障害者保健福祉手帳所持者数（平成 24 年 3 月 31 日現在）（単位：人）

年度・市町村	級	計	1 級	2 級	3 級
平成 2 1 年度		2,667	452	1,655	560
平成 2 2 年度		3,060	490	1,908	662
平成 2 3 年度		3,429	528	2,118	783
松 戸 市		2,122	286	1,321	515
流 山 市		759	133	474	152
我 孫 子 市		548	109	323	116

表 1 8 - (4) - ウ 精神障害者福祉関係諸手続きの状況

(単位：件)

区 分 年 度	社会復帰施設利用 手 続 件 数		社会適応訓練 申込書受理件数	生計同一証明書・常時 介護証明書発行件数
	入所報告書	退所報告書		
平成 21 年度	-	-	2	14
平成 22 年度	-	-	-	21
平成 23 年度	-	-	-	18

(5) 精神保健福祉相談・訪問指導実施状況

精神科嘱託医による定例相談等

一 般 相 談	毎月 第2火曜日	増田 伸昭 医師
	毎月 第4月曜日	武田 直己 医師
	毎月1回 不定期	佐竹 直子 医師
酒 害 相 談	毎月 第3木曜日	小池 健 医師

精神保健福祉相談員・保健師が随時、電話・来所相談に応じており、事例によって訪問を実施した。

表18 - (5) - ア 対象者の性・年齢

(単位：人)

性・年齢 区分	実 数	性			年 齢					延 回 数
		男	女	不 明	20歳 未満	20歳 } 39歳	40歳 } 64歳	65歳 以上	不 明	
平成21年度	565	302	263	-	17	240	235	66	7	1,109
平成22年度	547	277	269	1	16	212	248	65	6	1,020
平成23年度	526	283	241	2	13	186	239	77	11	1,263
松戸市	386	206	179	1	6	125	184	61	10	899
流山市	48	29	19	-	1	20	20	7	-	149
我孫子市	36	17	19	-	4	14	15	3	-	76
管外・不明	56	31	24	1	2	27	20	6	1	139
相 談	300	168	131	1	6	110	133	42	9	556
訪 問	226	115	110	1	7	76	106	35	2	708

(注) 1 同一人により相談を3回・訪問を2回した場合、相談実数1、訪問実数1、計2となり、延回数は5回となる。

2 電話相談は計上していない。

表18 - (5) - イ 電話相談件数 (単位：件)

性 別	延 件 数
男	4,347
女	3,442
不明	24
合計	7,813

表18 - (5) - ウ 相談の種別 (延数)

(単位：件)

種別 区分	総 数	精神障害に関する相談					中毒性精神障害に 関する相談			心 の 健 康 相 談	思 春 期 の 相 談	老 年 期 の 相 談	そ の 他 の 相 談	
		関 診 す る こ と に	社 会 復 帰 等	生 活 支 援	通 院 公 費 負 担 ・ 帳	そ の 他 の 相 談	ア ル コ ー ル	覚 せい 剤	そ の 他 の 中 毒					
平成21年度	1109	652	83	121	2	144	64	1	8	11	1	13	9	
平成22年度	1020	536	31	85	3	249	45	9	4	39	4	5	10	
平成23年度	1264	462	75	182	7	359	42	2	2	91	1	24	17	
相 談	計	556	133	34	98	7	166	22	2	1	65	1	11	16
	男	331	68	21	70	2	94	22	2	1	40	1	2	8
	女	225	65	13	28	5	72	-	-	-	25	-	9	8
訪 問	計	708	329	41	84	-	193	20	-	1	26	-	13	1
	男	402	184	31	42	-	108	17	-	1	16	-	2	1
	女	306	145	10	42	-	85	3	-	-	10	-	11	-

表18 - (5) - エ 援助の内容 (延数)

(単位：件)

内容 区分	総 数	医 学 的 指 導	受 療 援 助	生 活 指 導 援 助	社 会 復 帰 援 助	紹 介 ・ 連 絡	方 針 協 議 調 整	そ の 他
平成21年度	2605	93	448	257	92	602	579	534
平成22年度	1810	57	328	168	38	325	470	424
平成23年度	2254	67	283	339	79	415	619	452
相 談	976	34	64	186	39	216	211	226
訪 問	1278	33	219	153	40	199	408	226

(注) 援助内容は重複あり

## (6) 精神障害者社会復帰関係

保健所デイケアクラブ「ひまわり会」は、平成17年から月2回となったが、月1回はメンバーによる運営を促し自主的活動を定着させた。平成23年度末に終了式を行い、デイケアクラブは終了となっている。

表18 - (6) デイケアクラブ「ひまわり会」の活動状況

(単位:人)

区分	内容	開催回数	参加者			
			実人数(男・女)		延人数(男・女)	
平成21年度		24	26(19・7)		242(176・66)	
平成22年度		24	20(15・5)		180(136・44)	
平成23年度		24	16(13・3)		173(126・47)	
月日	プログラム	計	メンバー		スタッフ	ボランティア等
			男	女		
4月6日	顔合わせ	22	8	3	5	6
13日	DVD鑑賞	15	4	3	4	4
5月10日	バーベキュー準備	11	3	2	3	3
11日	バーベキュー	18	6	3	5	4
6月1日	社会資源を知る	17	6	3	4	4
8日	茶話会	13	5	2	3	3
7月6日	卓球	9	3	-	3	3
13日	社会資源を知る	13	4	2	4	3
8月3日	茶話会(スイカの会)	13	4	2	4	3
10日	映画鑑賞	10	3	2	3	2
9月7日	卓球	11	3	-	4	4
14日	DVD鑑賞	15	5	3	4	3
10月5日	キッコーマン工場見学	15	4	2	4	5
12日	江戸川散歩	12	5	1	3	3
11月2日	卓球	11	5	-	4	2
9日	年末お楽しみ会準備	14	5	2	4	3
12月7日	年末お楽しみ会準備	17	7	2	4	4
14日	年末お楽しみ会	28	12	1	4	11
1月4日	初詣(松戸神社)	14	4	3	4	3
11日	食事会(サイゼリヤ)	11	4	2	4	1
2月1日	スポーツ	11	3	2	4	2
15日	DVD鑑賞	10	4	2	3	1
3月7日	終了式	15	7	2	4	2
14日	卒業式と謝恩会	32	12	3	5	12
	実施回数 計24回	357	126	47	93	91



(7) 地域精神保健福祉関係

地域の精神保健福祉を円滑に促進するために、医療機関はじめ関係機関の担当者を委員とする精神保健福祉連絡協議会を設置し、協議を行った。また、地域家族会の育成・支援を行った。

表18-(7)-ア 会議・講演会等

会議・講演会等の名称	日時	延人数	対象者等
松戸保健所精神保健福祉連絡協議会 災害時における精神保健福祉対策について	平成24年 3月6日	23	管内各機関代表委員等

表18-(7)-イ 家族教室・精神保健福祉ボランティア講座等

名称	開催日数	受講者数		内容
		実人数	延人数	
心の家族教室	3日	30人	69人	統合失調症と治療について 地域生活を支えていくための資源及び制度について 家族会活動について SST 講習 ～気持ちの伝え方～

表18-(7)-ウ 組織育成

(単位：件)

種別	総数	家族会	ボランティア	その他
支援延件数	10	3	-	7

(8) 心神喪失者等医療観察法関係

「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」の対象者に対し、保護観察所主催の処遇検討会議に参加し、地域において訪問等の支援を実施している。

今年度はケア会議に24回、CPA会議に2回、事前協議に4回出席した。

(9) その他

地域生活支援センターや権利擁護事業等の運営委員会の委員として会議に出席の形で運営に参加。また、要請に応じて包括支援センター等他機関主催の連絡会や研修等の講師としての協力、及び事例検討会議や個別支援会議への出席等を通じて関係機関との連携と精神保健福祉知識の普及に努めている。

表18-(9) その他の事業

名称	回数	主な内容
日常生活自立支援事業処遇等検討委員会	3回	事業報告、事例検討
西深井地域生活支援センターすみれ 運営委員会	2回	事業報告等
地域支え合い体制づくり事業情報交換会	3回	活動報告、事例検討